

<p>2019年5月30日発行</p> <p>Vol.82</p>		<p>長崎県音楽連盟事務局</p> <p>〒850-0056 長崎市恵美須町4-5 NBC第3ビル2F</p> <p>Tel.&amp;Fax095-820-1081</p> <p>ホームページアドレス <a href="http://www.n-rond.jp">http://www.n-rond.jp</a> メールアドレス <a href="mailto:nma@onyx.dti.ne.jp">nma@onyx.dti.ne.jp</a></p>
-----------------------------------	---	--

2019年度

## 理事会・総会を県美術館で開催！

10日間という史上最長の大型ゴールデンウィークの最中、祝賀ムードとともに新たな【令和】の時代が幕を開けました。果たして日本の明日は？未来は？気になるところですが、そんな時代の節目を迎えて間もない5月9日、長崎県音楽連盟の明日＆未来にとって重要な、令和最初の理事会・総会が、長崎県美術館2F講座室に於いて開催されました。

総会に先立って理事会が行われ、河野 英雄 理事長によるユーモア溢れる進行のもと、堀内 伊吹 運営委員長から第1号から第4号までの議案内容が説明され、監査報告も含め、全ての議案が無事了承されました。時間も残り僅かとなったところで、話題は長崎市が計画を進めている新ホールに。その新ホールの基本構想案を策定したばかりの長崎市文化振興審議会の会長を務める堀内 運営委員長、委員を務める吉田 峰明 活水女子大学副学長らが、進捗状況についての理事の皆様方の質問、疑問

にお答えする場面もあり、新ホールへの関心・注目の高さが窺えました。続いて行われた総会でも、全ての議案が無事了承されました。最後に、美術館の学芸員の方から、現在開催中のバルセロナ展についてのピンポイント解説・ご案内をいただいて、無事閉会となりました。

その後、水辺の森のワイナリーレストランOPENERSに場所を移し、和やかなムードの中親睦会が行われ、理事や会員同士の良き交流、情報交換の場となっていました。

(副運営委員長 林田 賢)



理事会・総会が開催された  
長崎県美術館

### ～「令和の時代」音楽連盟がめざすもの！～

長崎県音楽連盟は、平成9年(1997年)に発足しましたので、ことし22年目になります。折しも、元号が替わって「令和」、音楽に通じる響きがあります。

県単位の、音楽家、演奏団体を一堂に会した音楽連盟は、比較的珍しいそうですが、それだけに、音楽連盟の、めざすもの、役割が、しっかりしていないと、「存在の意義」が問われます。音楽連盟の役割は、1つは、地元の音楽家・演奏家に演奏、発表の場を提供し、活動を支援すること、そして、それも含めて、行政や市民と協力して、長崎の音楽文化を振興、発展させることです。私は、九州文化協会の理事も仰せつかっていますが、熊本、鹿児島、大分、宮崎など、他県では行政と一緒に、音楽を中心とした「芸術文化祭」あるいは「国際音楽祭」が、毎年開催されています。長崎でも、かつての「ながさき音楽祭」のような、県下を舞台とした長崎らしい「音楽祭」を、音楽

連盟が中心になって、開催したいものです。新しい時代、長崎が、より「音楽文化」が花開く街になるよう、音楽連盟は、花を咲かせる「水」や「光」の役割を果たしたいと願っています。

今年は、**長崎市市制施行130年!**この節目の年に、音楽連盟も、長崎市と協力して、より充実した企画を予定しています。好評の「名曲シリーズ」は、1年を通して、テーマごとのコンサートを開催。来年3月には、「マダムバタフライフェスティバル」を、オペラ「蝶々夫人」の作曲家プッチーニの出身地、イタリアルッカから、演奏家(ソプラノ歌手など)を招いて開催する予定です。

音楽連盟の活動に、会員、市民の皆様のご支援を、心からお願い致します。

(長崎県音楽連盟理事長 河野英雄)